健康診断の御案内

事業者はすべての労働者に対して、1年に1回定期健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法)。また、労働者にも健診を受診する努力義務があります(健診先は自由に選択可能)。 忙しい日常業務の中、検診をなかなか受けられない場合が多く、健診を受けても異常を認めても、何処でどのような検査をしたらよいのか悩んでいる方が多いと思います。

本年度も基礎健診に加え追加検査と予防接種の同時接種をご案内します。全て自費扱いとなりますので保険証は不要です。ご希望の方はお電話でご予約ください。

医療法人社団 松伯会 山王クリニック 院長 鈴木 努

1. 基礎(法定)健康診断項目

① 身体測定: 身長・体重・腹囲測定・肥満度(BMI)、視力・聴力検査、血圧測定

② レントゲン検査: 胸部レントゲン撮影

③ 心機能検査: 心電図

④ 尿検査: 糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン

⑤ 血液検査:

血液一般: 白血球、赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板

肝機能: 総蛋白、総ビリルビン、GOT(AST)、GPT(ALT)、γ-GTP

脂質: HDL・LDL コレステロール、中性脂肪

腎機能: 尿素窒素、クレアチニン、尿酸

糖尿病: 空腹時血糖值、HbA1c

⑥ 問診・診察: 質問票、既往歴、業務歴、自覚症状・他覚症状の有無、診察

注 1: 腹囲測定、LDL コレステロールは労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行に基づき、 平成 20 年度の健康診断より追加しました。

- 注2:腹囲の検査を省略できるものとして、以下に定められています。
 - ・40 歳未満の者 (35 歳の者を除く)
 - ・妊娠中の女性その他の者であって、その腹囲が内臓脂肪の蓄積を反映していないもの
 - BMIが20未満である者
 - ・自ら腹囲を測定し、その値を申告した者(BMIが22未満の者)

2. オプション検査項目

下記項目を別途追加していただくことができます。

● 大腸がん検診(便潜血検査法・2日採便法)

大腸がんは、早期であればほぼ完治します。S 状結腸と直腸が、大腸がんのできやすい部位です。 一般的には自覚症状は無いので、無症状の時期に発見することが重要です。肉眼ではわからない 微量の血液でも判定することが出来る免疫学的潜血反応を用いることで、大腸がんや癌化の恐れ のある大腸ポリープの早期発見につながります。

● 肝炎ウイルス検査(HBs 抗原、HCV 抗体)

慢性肝炎は進行すると肝硬変に至り、肝がんを発症する危険性があります。早く見つけて適切に 治療することが必要です。過去に肝機能異常を指摘されたことのある方、輸血をうけたことのあ る方、定期的に肝機能検査を受けていない方、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、ぜひ お勧めです。B型肝炎ウイルス検査は HBs 抗原を、C型は HCV 抗体を測定します。

● 腫瘍マーカー (CEA、CA19-9 など)

腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印(マーカー)になる物質の総称です。がん細胞がつくる物質、またはがん細胞と反応して体内の正常細胞がつくる物質で、がんの診断または治療の目印として役立ちます。血液の腫瘍マーカー検査だけで早期がんのすべてをカバーすることはできませんが、CA19-9 は膵臓がん、CEA は肺がんや大腸がんなど全身を対象とした非特定部位の腫瘍マーカーとして有用とされています。

● 前立腺がん血液検査 (PSA)

前立腺がんは男性特有の病気で中高年齢者に多く見られ、がんの中では成長速度が非常に遅いのが特徴です。早期に発見すれば治療効果の良いがんです。がんが比較的初期で大部分の患者が陽性を示すので、血液中の PSA (前立腺特異抗原) を調べることで、前立腺肥大症や早期前立腺がんの発見につながります。

● 子宮頚がん検査(自己細胞採取法)

子宮頚癌は女性のがんの中で 4 番目に多い病気で、子宮頚部と呼ばれる子宮の出口より発生するがんです。40 歳を超える女性の $2\sim3\%$ が子宮頚がんを発症しています。また最近は、20 代、30 代の若い女性に増える傾向があります。この病気の最大の特徴は、予防可能ながんであるということです。これは異形成(子宮頚がんになる前の段階の病変)が発見可能なためであり、定期的な子宮頸がん検診により、異形成の段階で発見、治療することで、がんの発症を未然に防ぐことが重要であることを意味します。検査はご自宅で比較的容易に行うことができます。

● ピロリ菌抗体検査

50 才以上の方の 60~70%がヘリコバクター・ピロリ菌に感染しています。従来、胃潰瘍や十二 指腸潰瘍はストレスが原因と考えられていましたが、多くはピロリ菌の感染症であることが認知 されてきました。またピロリ菌が関与する胃がん発生のメカニズムについては、内外の研究者により遺伝子レベルで解明されつつあります。ヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無を、尿素呼気試験により調べます(感度・特異度95%)。

● ストレス健診

心身の疲労により①身体症状、②気分の落ち込み、③行動様式の変化がみられますが、過度の疲労は生活習慣病、うつ病などの原因となります。精神科医師による面接を行い、悩みストレス対処法についての相談、気分障害など精神科疾患の予防および早期発見をはかります。

● 予防接種 (小児期ワクチンの効果は、20 才以降ほとんどなくなっています)

健診と同時に各種予防接種を受けましょう。

成人では、水痘(帯状疱疹、水ぼうそう)、麻疹(はしか)、おたふく、破傷風、A型肝炎、B型肝炎、肺炎球菌(23 価)、ヒトパピローマウイルスなどのワクチン接種が有効です。

詳細は当院ウェブサイトをご参照ください。http://www.sannoclinic.jp/vaccine.html

3. 料金 () 内は税込み価格です

基礎検診 12,000 円 (12,600 円)

オプション検査 (オプション検査のみご希望の方は下記料金に 2,730 円が加算されます。)

大腸がん検診	1,500 円	(1,575 円 $)$
肝炎ウイルス検査	2,500 円	(2,625 円)
腫瘍マーカー	3,200 円	(3,360 円)
前立腺がん血液検査	2,500 円	(2,625 円)
子宮頚がん検査	3,000 円	(3,150 円)
ピロリ菌抗体検査	3,000 円	(3,150 円)
ストレス健診	5,000 円	(5,250 円)
麻疹抗体検査	2,190 円	(2,300 円)
B型肝炎抗体検査	2,190 円	(2,300 円)
C型肝炎抗体検査	2,190 円	(2,300 円)

4. お申し込み

実施日: お時間は電話でお問い合わせください。

申込方法: 電話:03-3580-5001 FAX:03-3580-5031

